

花実の森 活動報告(2025年5月)

第158号

活動日	時間	天候 (曇り)	記録者 (菅田)
2025年5月18日(日)	8:30~12:30		

参加者氏名 スタッフ15名 応募家族5 18名 内子ども9名	(スタッフ) 花実の森: 田路、樋口、菅田、中原、南木、 (本部) 辻本、片山、南木、竹内、小山、森下、能、山本 (救急ボランティア) 北条、中村
今回実施した 内容	<p>親子カブトムシ生育観察会(2025年第1回 幼虫観察)</p> <p>親子自然環境体験型環境学習として企画し、(公財)こうべ市民福祉振興協会の協力を得て実施した2025年度『親子カブトムシ生育観察会』。年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察をしながら、里山を知り学ぶイベント。</p> <p>今回は、今年度の1回目「春の里山に育つカブトムシ幼虫観察会」として、冬眠を経て一回り大きく育った3歳幼虫を観察してもらった。</p> <p>その後、春の里山観察として、草木のいろいろな葉っぱ集めをしてもらった。「いろいろな形の葉っぱ」「いろいろな色の葉っぱ」「とげがあつたり産毛のある葉っぱ」「いいにおい、臭いにおいのする葉っぱ」…など目的を持って散策することで、日頃見過ごしがちな身近な草木の観察をしてもらった。</p>



参加者受付も始まる



はじめのあいさつ



ようこそカブトムシが育つ花実の森へ



昔の里山と今の里山の話、この里山に棲むカブトムシの暮らしの話などのお勉強



カブトムシの一生についてもしっかり
知っておこう。



さあそれでは今からカブトムシの幼虫が棲んでいるところへ向かうよ。



冬眠を経てさらに大きくなっていると思
える幼虫の生育場所。さあ しっかり育
っているかな？



子どもたちにも手伝ってもらい、イノシシ
除けの木枠を撤去。



幼虫を傷つけないようにやさしく探すん
だよ。



いたいた！どんどん見つかる。見つけた幼虫は一旦ケースへ。
わあ 体の色が茶色っぽくなったのもいたね。これはもうすぐさなぎになるための部屋（蛹室）をつくる準備ができた身体なんだよ。優しく戻してあげよう。

見つかった幼虫を観察しながら “カブトムシクイズ” に挑戦



カブトムシクイズ

ぜんぶ正解して
『カブトムシはかせ』になろう!

カブトムシクイズ 3

カブトムシのメスは何個のたまごを産む？

- ① 1個
- ② 10個くらい
- ③ 30~50個くらい
- ④ 100個くらい

カブトムシクイズ 7

1匹の幼虫が、さなぎになるまでに
食べるふよう土はどれくらい？

- ① 1リットル
- ② 2リットル
- ③ 3リットル

カブトムシクイズ 9

カブトムシは
【どこでいきをしている】
のかなあ

- ①もちろん口で
- ②いやいや口
じゃないよ

新緑の里山を観察しながらいろいろな草木の葉っぱを集めてみよう



ここからはいろいろな木の葉を集めてみよう。
いろいろな形の葉、いろいろな色をした葉、とげのある葉、産毛のある葉、匂いのする葉、葉の付き方にもいろいろあるから見つけよう。

見つけてきた葉っぱを分類して貼り付けていく



いろいろ見つかったかな…



レジ袋に入れ、集めてきた葉っぱを項目ごとに分類し、貼り付けてゆく。



完成です！

秋にはまた違った里山の観察ができるので
また来てください。



スタッフのみなさんもお疲れさまでした。
事故もなく無事に終えました。夏の成虫探し
にも来てもらいましょう。